

令和 7 年度 第一回ネイパル厚岸 運営協議会 議事録（要約・修正文）

令和 7 年 10 月 2 日（木）10:00～／ネイパル厚岸 研修室

■ 出席者

仲岡氏（北海道大学厚岸臨海実験所 所長）
車塚氏（厚岸町生涯学習課 課長）
山田氏（厚岸町立厚岸中学校 校長）
加藤氏（厚岸味覚ターミナル・コンキリエ 取締役支配人）
河内氏（Amamo Works 代表）
尾張氏（厚岸町観光協会 事務局長）
菅原氏（厚岸町海事記念館 館長）

ネイパル厚岸：上杉所長、加藤主幹、大槻係長（書記）

■ 出席者発言内容（発言者別）

仲岡氏（北海道大学厚岸臨海実験所 所長）

「いつも臨海実習生の食事などでお世話になっています。今年取り組み、現状維持にとどまらず新しいことに挑戦している姿勢は素直にすごいなと思いました。
ただ、細かいところで気になったのが、暑さと虫の問題です。うちも 7 月 8 月はかなり暑くて、窓を開けると虫が入ってきます。特に都会から来る子どもたちはそういうのに敏感で、眠れないこともあると思います。ポータブルエアコンの導入や虫対策のお話がありましたが、実際どうなっていますか？」

▶ 上杉所長の回答

「スポットクーラーは道教委から 3 台支給され、保健室と食堂に設置しています。宿泊室には扇風機を追加購入し、希望者に貸出できる体制です。虫については、防虫剤の噴霧、防虫セットの貸出、入所前の清掃を徹底していますが、建物の隙間などは修繕が必要で、道に報告済みです。」

車塚氏（厚岸町生涯学習課 課長）

「ネイパルさん、利用者にとって使いやすいように変えていこうという姿勢が見えて、方向性はいいと思います。うちで受け入れた大学野球部の話ですが、虫がすごいと聞いていて、蚊かと思ったら壁を這う小さい虫でした。あれは特定の虫ですね？駆除はできますか？それから、野球部は30人くらいで2棟使っていましたが、そこに小学生とか他の団体が入ると、受け入れは難しいですか？」

▶ 上杉所長の回答

「虫は完全な駆除は難しいですが、防虫剤や清掃で対応しています。宿泊棟は5棟あり、1棟に最大40人入れますが、大学生のような体格の団体だと1部屋6～7人で圧迫感が出るため、2棟貸しが基本です。同規模の団体が重なると、他の受け入れは1団体が限度になります。」

山田氏（厚岸町立厚岸中学校 校長）

「ネイパルさんの運営、非常に丁寧に考えられていて、方向性はいいと思います。虫の話が出ていましたが、釧路市の小学校も宿泊研修で利用していますよね？同じような話が出ていますか？それとも時期的なものでしょうか？ネイパルは自然の中にある施設で、ホテルとは違うと思うんです。だから、ホテル並みのサービスを求めるのはちょっと違うんじゃないかなと。指導の個別化については、これからの新学習指導要領素案に非常にマッチしたものを考えていると思いますが、利用する側にその意図が理解されるよう、施設の趣旨と利用者の期待のギャップを埋めるためにも、丁寧な説明が必要だと思いました。」

加藤氏（厚岸味覚ターミナル・コンキリエ 取締役支配人）

「カヌー体験の件ですが、厚岸湖が危ないってことで別寒辺牛川に変更したと思うんですが、川もクマが出ます。うちでは職員全員がクマスプレーを持っています。ネイパルさんはどうですか？あと、避難所としての電源や携帯電波の状況は改善されていますか？それと、トレーニング室の利用率って上がっていますか？広告とかは出していますか？口コミだけ？」

▶ 上杉所長の回答

「クマスプレーは現在未所持で、購入と講習を進める予定です。鈴は貸出用を購入済みです。水鳥観察館と連携して、クマの出没情報は事前に確認しています。Wi-Fiは研修室周辺で整備済みですが、宿泊棟は未整備です。携帯電波はまだ改善されていません。トレーニング室は利用者が微増しています。口コミ中心で、新規利用者もいますが、分析は未実施です。」

河内氏（Amamo Works 代表）

「特需に頼らず利用者数を維持しているのは本当にすごいと思います。車椅子の対応も、避難所運営後すぐに購入されていて、レスポンスが早いのは素晴らしいです。申込方法がWebに変わって減ったという話ですが、これは時代の流れなので仕方ないと思います。ただ、電話しか使えない方もいるので、チラシなどで案内を補足した方がいいかもしれません。キャンセル率が高いのはもったいないですね。申し込み率は高いのに実施率が8割ってというのは、キャンセル待ちなどをもっと細やかにできればと思います。あと、虫の種類は何ですか？それによってコーキングなどで対応できるかもしれません。この施設は教育施設なので、ホテル並みのサービスを求められた際に全部要求を聞かなくてもいいのかなと思いました。」

▶ 上杉所長の回答

「虫はハサミムシです。毎年出ていて、今年特化したわけではなさそうです。隙間対策としてコーキングなども検討していきます。」

尾張氏（厚岸町観光協会 事務局長）

「ネイパルさんの活動は本当に勉強になりました。昔、体験型事業でネイパルを使わせていただいたことがあり、今も時代に合わせた取り組みをされているのがよく分かりました。合宿で来ている大学生と地元の子どもたちとの交流の機会があるといいなと思います。町を知ってもらうことで、リピーターになってもらえるかもしれません。あと、カヌー体験などの危機管理体制について、連絡体制やマニュアルがきちんと機能しているか確認していただけると安心です。」

菅原氏（厚岸町海事記念館 館長）

「いつも事業で連携させていただいてありがとうございます。今年度も星空観察や、フェスティバルで歴史コーナーなど、いろいろとご一緒できてありがたく思っています。今後ぜひ声をかけていただければと思います。それで2点ほど質問させてください。まず1つ目は、ネイパルさんが町内で出前講座をされているということで、うちの海事記念館でも子どもクラブなどをやっているんですが、そういう場に講師として来ていただくことは可能でしょうか？もう1つは、利用状況についてです。私たちは団体が来たときに解説などを行っているんですが、ここ数年、学校団体の利用が減っているような感覚があります。ネイパルさんとしても、学校利用って減ってきているんでしょうか？」

▶ 上杉所長の回答

「出前講座については、もちろん喜んで伺いますので、ぜひご相談ください。学校利用については、正直なところ年々減ってきています。学校団体の数も、生徒数も減少傾向にありまして、結果的に右肩下がりの状況です。」

加藤氏（厚岸味覚ターミナル・コンキリエ 取締役支配人）※追加意見

「あ、すみません。1点言い忘れていたことがありまして。避難所運営についてなんですが、うちの施設では“防災士”を配置しています。国家資格ではないですが、避難所としての機能を考えると、やっぱり必要だと思うんです。うちは男性3人、女性1人の体制で、男女両方配置しています。防災士がいて、町民の方が来られたときにネットワークの作り方やフォローなど、すぐに対応できるんですよね。もちろん予算も時間もかかると思いますが、釧路・根室でも講習会が開かれていますし、将来的には厚岸でも開催される予定です。ぜひ、ネイパルさんでも防災士の配置を検討していただけたらと思います。」

▶ 上杉所長の回答

「防災士の配置については、今後調べてみて、検討させていただきます。」

上杉氏（ネイパル厚岸 所長）※締め言葉

「皆さん、本日は貴重なご意見を本当にありがとうございました。どのご発言も、今後の運営にとって非常に参考になるものばかりでした。議事録をしっかりとまとめて、まずは情報を整理し、改善に向けて動いていきたいと思います。」

次回の運営協議会は、令和8年3月末を予定しています。その際には、今回いただいたご意見をもとに、どのように改善されたかをご報告できればと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。」